

はじめに	1
1. 環境報告の普及の意義	
1) 情報的手法としての環境報告書	6
2) 環境報告の意義	8
2. 我が国における環境報告書の現状	
1) 環境報告書作成・公表の状況	11
2) 環境報告書における環境情報の記載状況	14
3) 環境報告書を作成しない理由	15
3. 環境報告の促進に係る取組の状況	
1) 環境報告書ガイドライン等の策定	17
2) 環境報告書に関するシンポジウムの開催	17
3) 優良な環境報告書の表彰制度の実施	18
4) 環境報告書ネットワークの活動	19
5) 環境活動評価プログラムの普及	19
4. 環境報告の促進に関連する地方公共団体の取組の状況	
1) 環境報告書の作成及び事業者に対する環境報告書の作成支援の状況	20
2) 環境関連の計画等の自主的な策定を促すような制度の状況	20
3) 地方公共団体の ISO14001 規格の認証取得状況及び事業者の認証取得 に対する支援の状況	22
4) 環境関連の計画等の策定を義務付ける条例制定の状況	22
5. 環境報告の促進に係る諸外国の取組の状況	
1) 環境報告書のガイドライン等の策定	24
2) 優良な環境報告書の表彰制度の実施	26
3) その他の環境報告の促進策	27
4) 欧州連合における環境管理監査スキームの概要	29
5) 環境報告書の作成・公表あるいは環境情報公開の制度化	30
6) 社会的責任投資の拡大	30
6. 環境報告書の第三者レビューの状況	
1) 環境報告書の第三者レビューの概況	32
2) 環境報告書の第三者レビューの実施状況	32
3) 環境報告書の第三者レビューに関するガイドライン等の概要	34
4) 環境報告書の第三者レビューに関するアンケート調査結果の概要	36
5) 環境報告書における第三者レビューの実施内容	38
6) 環境報告書の第三者レビューの課題	40
7. 今後の環境報告の普及に向けての方策	
1) 事業者の環境経営促進に向けての枠組み	42
2) 環境報告書に関する現状認識と普及に向けての課題	44
3) 既に実施されている施策及び考えられ得る施策の整理	46
4) 今後、検討すべき施策の方向性	50
終わりに～今後に向けて	57
資料編	59